

# 大内かわら版 NO.21

## 大内地区 地域の教科書

観光案内を目的に作られたものでなく、大内に住みたいという方が大内での生活をイメージしやすいよう、ありのままの暮らしぶりを記したものであり、地域住民の皆さんにとっては、当たり前になっていた地域の魅力・価値を改めて見つめ直すきっかけになるものです。

大内全体・12区毎の行事や暮らしの中の決まり事、暮らしにかかる費用、地域の役割・組織など4つの情報に分けまとめました。現在、第2段階を作成中です。

第1段階  
基本情報版

## 毎月配布される「広報」「回覧板」などについて

大内地区の若い世代の方や、お嫁に嫁いで来た皆さんにお話を伺うなかで、こんなお声を聞きました。

回覧板がいつ・どの  
ように回っているのが、  
分からない



毎月1日と15日に全戸配布  
があって、広報誌や、各種情報が  
家に届く仕組み  
を知らなかった



大内で「地域の教科書」を  
作っていること、それが  
4月に配布されたことを  
知らなかった

毎月配布される「広報まるもり」やそれぞれの

お知らせでは、子どもや若い世代、年輩者に関わることなど、様々な暮らしの情報を配信しています。忙しい方はなかなか読む時間がなかったり、回覧は早く次の方に回してあげよう！というお心遣いがあったり、各家でそれぞれの事情があると思いますが、家族にとって必要な情報を逃さぬよう、ご家族で共有される工夫があると良いのかもしれないね。

お盆で、ご家族&ご親戚の皆さんが帰省される方も多いことでしょう。ぜひ、4月に発行した「地域の教科書」も見ていただき、



地元でこんな  
行事や活動をしてるんだ！

こんな情報  
があると  
助かる！

などなどご意見&ご感想をお聞きできたら嬉しいです。

愛知県北設楽郡東栄町

「東栄町ふるさと応援隊」の活動紹介



町民と、町外在住の地元出身者の情報交換を通し繋がりを深めたり、町の活性化&PRの一環も兼ね、町で「東栄町ふるさと応援隊」を創設しました。どんな取り組みで、どんなメリットがあるものなのか見てみましょう！

★現在住んでいる町民のメリット

- ふるさとを離れて暮らす地元出身者に情報発信できる。
- 地元を離れている出身者や、家族などに戻って来てもらうきっかけになる。
- 進学や就職、転勤などで地元を離れる場合、町外に住む地元出身者から転出先周辺情報を受け取ることができる。

★町外に住む地元出身者のメリット

- ふるさとの情報をキャッチできる。
- その情報を通して、地元のお祭りや活動へ参加しやすくなる。
- 離れていても、地元を応援できる。
- （役場に登録すると）地元を離れる町民に、自分が在住する地域情報を提供し、地元貢献ができる。

現在、町に住む方と、町外に住む地元出身者それぞれが「東栄町ふるさと応援隊」となり、情報交換や地域活動などで交流を深め、かつての友人・知り合いなどが繋がり、「東栄町の輪」が広がることを願い、意欲的に取り組まれています。離れていても郷土愛を育む工夫が、全国各所で考えられているようですね。

